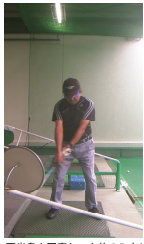


榎本プロ 連続スウィング (10/8) ドライバー

テークバックで体重を右足に乗せ、インパクト以降は右足を左足一本でフィニッシュを作る。これにより体重移動と体の回転を良くするスウィングに改造。

テークバックでは上体のみ右に移動させ、右足に完全に体重を乗せて行く。
この時グリップの位置(上下位置)を一定に保ってノーコックでテークバックする。
ハーフウェイバック以降はコックせずグリップを上げてゆく。

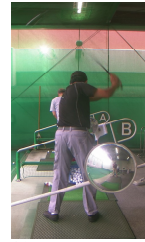
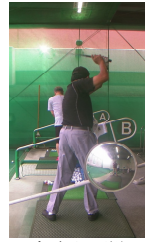
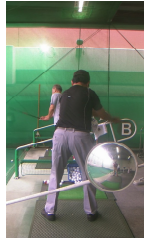
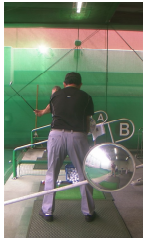
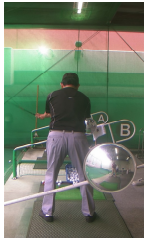
このテークバックの動きの結果、左腕がまっすぐ伸びスウィングアークを大きく出来てきた。
インパクト以降は右足をスライドさせてゆく。(池田勇太プロの動き)
フィニッシュでは右足太ももが右足太ももに付け、左足一本で立ち、つま先が地面に向くようにする。



下半身を固定し、上体のみ右に移動
グリップの位置(上下位置)は変えない

クラブヘッドは低く遠くへ振り投げる

この時点でノーコックを保ち、グリップエンドを上げてゆく。
(このポジションをトップオブスウィングと意識)



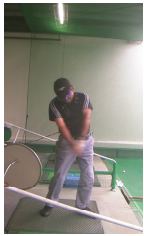
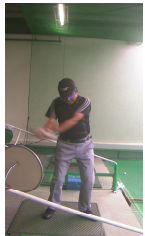
この時点で右足一本立ちに

トップオブスウィングがコンパクトになってきた



下半身の固定で、腰の回転が抑えられている

コンパクトなトップに収まる

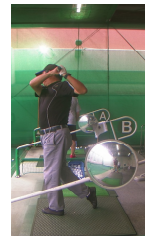
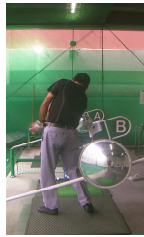
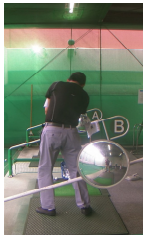
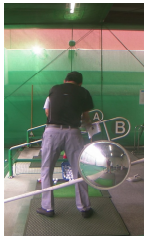


インパクト以降は右足を左にスライドさせてゆく。

右前方にクラブヘッドを振り出す
頸を右肩に押し当てるようにして頭を残す

右足の太腿を左足に密着させてゆく

左足一本でフィニッシュ
右足のつま先は地面に向く



左肘が上手くたまたまれている

シャフトを前の後ろに当てるイメージで振り切る



シャフトがここを回るようになってきた

榎本プロ 連続スイング (9/29) ドライバー

インパクト以降、右足をスライドさせ左足一本でフィニッシュを作ることで体の回転を良くするスイングに改造。

テークバックでは下半身を固定し、上体のみ右に移動させることを意識する。
この時グリップの位置(上下位置)を一定に保ってノーコックでテークバックする。
ハーフウェイバック以降はコックせずグリップを上げてゆく。

このテークバックの動きの結果、左腕がまっすぐ伸びスイングアークを大きく出来てきた。
インパクト以降は右足をスライドさせてゆく。(池田勇太プロの動き)
フィニッシュでは右足太ももが右足太ももに付け、左足一本で立ち、つま先が地面に向くようにする。



下半身を固定し、上体のみ右に移動
グリップの位置(上下位置)は変えない

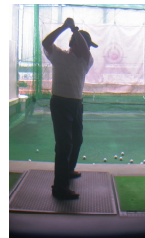
クラブヘッドは低く遠くへ振り投げる

この時点でノーコックを保ち、グリップエンドを上げてゆく。
(このポジションをトップオブスイングと意識)



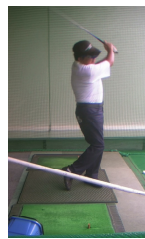
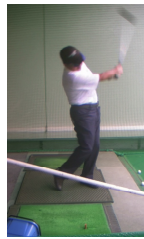
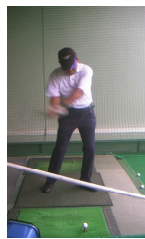
クラブヘッドを背中を持ってゆきたい

左手の位置が高すぎるか



下半身の固定で、腰の回転が抑えられている

コンパクトなトップに収まる

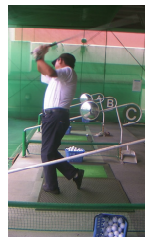


インパクト以降は右足を左にスライドさせてゆく。

右前方にクラブヘッドを振り出す
顎を右肩に押し当てるようにして頭を残す

右足の太腿を左足に密着させてゆく

左足一本でフィニッシュ
右足のつま先は地面に向く



左肘が上手くたたまれている

シャフトを前の後ろに当てるイメージで振り切る



シャフトがここを回るようになってきた

榎本プロ 連続スイング (9/3) ドライバー

これは以前のスイング

ハーフスイングのイメージでコンパクトなスイングに改造中。

テークバックでは下半身を固定し、上体のみ右に移動させることを意識する。
この時グリップの位置(上下位置)を一定に保ってノーコックでテークバックする。
ハーフバック(クラブが水平)の時点で振りに行く。結果、クラブはトップで正しい位置にセットされる。

このテークバックの動きの結果、左腕がまっすぐ伸びスウィングアークを大きく出来てきた。
インパクトでは右足は極力ベタ足で我慢し、フォロースルーでは右前方にクラブを頼り出す。
フィニッシュでは右足をくると回してつま先が地面に向くようにする

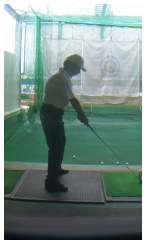


下半身を固定し、上体のみ右に移動
グリップの位置(上下位置)は変えない

クラブヘッドは低く遠くへ振り投げる

この時点で打ちに行く
(このポジションをトップオブスイングと意識)

トップはここで収まる 切り返しのタイミングはもっと打ち込んで体得へ



もう少しシャフトを寝かせたい
(もっとフラットに)

左手の位置が高すぎるか



下半身の固定で、腰の回転が知えられている

コンパクトなトップに収まる



インパクト逆は下半身固定、ベタ足を意識する

右前方にクラブヘッドを振り出す
顔を右肩に押し当てるようにして頭を残す

右腕がしっかり伸びている

結果的にヘッドは綺麗に振り切られる



左肘が上手くたたまれている

右足のつま先を立てて身体をくると回したい